

ゆい育成だより

第132号

平成31年3月9日



発行：由井第一地区子ども会育成団体連絡協議会（由井第一地区 地子連）
HP：http://www.yui1-chiku.chikoren.mydns.jp/

夢パワー！笑顔ひろげる 子ども会

由井第一地区地子連会長 酒井 敬夫

平成30年度も地域の方々の温かいご指導、ご支援により滞りなく終わることができました。誠にありがとうございました。由井第一地区地子連では、4、5、6年生を対象としてリーダーとしての基礎的な知識を各種イベントの中で体験しながら学ぶサブリーダー研修会を実施しています。今年度のサブリーダー研修も先月すべてのカリキュラムを終了して閉講式を行いました。そして、多くの子どもたちがサブリーダーの認定を八王子市市子連よりいただきました。

サブリーダー研修会では危険予知トレーニング（KYT）などの座学研修、創作活動、野外活動（キャンプ）やクリスマス会などを通じてレクレーションのゲーム研修、市子連行事、地子連行事への参加によりボランティア活動などの研修を実施しました。

今年は、個性豊かな元気な子ども達がいる、幾度もまとまりのつかない研修会となっていました。そんな子ども達でしたが、野外研修を境に自信にみちあふれたチームの協力性、思いやりの心を持つようになってきました。子ども達の我々が予想できない可能性がサブリーダー研修会の成功になったと毎年、実感しています。

このサブリーダー研修を修了し、中学生になったジュニアリーダー、そして高校生のシニアリーダーが大勢、八王子市市子連行事にて活躍しています。由井第一地区出身のリーダーに市子連イベントで会うことがとても嬉しく自然に笑顔になっている自分を感じるのを感じます。これからもサブリーダー研修を通じてたくさんの可能性を秘めた子どもたちの良いところを引き出していけたらと思います。

《サブリーダー研修会の閉講式》

平成31年2月16日（土）春日会館にて

◆認定：上級サブリーダー1名（2年目）、初級サブリーダー6名（1年目）



〈来賓と受講生の皆さんと育成者役員〉

北野子ども会育成会

会長小俣まゆみ

今年度を振り返り、前半は天候に悩まされながらキャンプの中止などがありました。新会員を迎えボーリング大会やクリスマス会など行いました。毎年最後の行事として、6年生を送る会で餅つきを行なっています。低学年から見えていたお子さんが春から中学生になっていく姿を見ると、こちらまで嬉しく思います。また、行事の度に地域の方々の力を借りて支えていただいています。ご協力ありがとうございます。これからも、子どもたちにとって楽しい地域活動が続いていくように活動していきます。



地子連球技大会のおしらせ 詳細は4月

ドッチビー大会

4月27日（土曜日）

長沼小学校 体育館

★13:00～16:20



サブリーダー研修会特集

平成30年8月25日(土)～26日(日) さがさわキャンプ場(上野原市秋山)

野外研修には、小学生16名、ジュニアリーダー(中学生)1名、シニアリーダー(高校生)2名、役員・育成者14名が参加し、1日目は電車と貸切バスでキャンプ場へ。

昼弁当を食べ、開村式、トーチ棒の作り方、ロープワーク(ひもの結び方)を学び、飯盒炊さんとカレーライスづくり。

薪に火が着かずマッチ(3本)を使い果たし、追加の「マッチをください。お願いします。」が言えなかったり、カマドの世話を誰が主でやるかで譲り合えず、イライラ君に何人かが変身。煙に苦戦しながらも何とか協力して3班ともにおいしいカレーライスできました。



〈キャンプ2日目、キャンプ場を去る時の集合写真〉

夜は、キャンプファイヤー。恒例の流星点火、キャンプだホイ！UFO！などで楽しく歌って踊り、トーチ棒の点火で締めくくりました。その後、花火をし、スイカを食べて就寝です。家庭をはなれ、子ども達だけで寝るのもいい体験。例年、遅くまで友達と話してそれが一番楽しかったとの感想が寄せられますが、今回は比較的早い時間？に爆睡タイムになったようです。

2日目は、朝の集いのラジオ体操で身体を目覚めさせ、朝食のご飯を炊きます。飯盒炊さんも2日目なので上手にでき、スタッフの具だくさんの豚汁などを食べて、今回キャンプの目玉、嵯峨沢を登りにスタートです。この沢登りコースは途中で岩をよじ登り、はしごやロープを使い、上流まで大人でも1時間近くかかるところを、途中で誰一人脱落することなく、全員で沢を登りきりました。険しいところは、安全確保のため一人ずつ登らせ、帰りの細い山道を下るのも含め、全体で2時間半。みんな、よく頑張りました。引率スタッフも感動。この2日間で、人の話をよく聞くこと、協力すること、あきらめないことが身につきました。何より沢登りを筆頭に、様々なプログラムの成功体験が大きな自信につながったことでしょう。来年度もまた違うプログラムを取入れて、子ども達の体験の機会を増やすことができると考えています。大勢のご参加をお待ちしています。(松田)

キャンプでの楽しい様子



見守りの大人からの感想

- ◆家と一番違うのは、薪を燃やしてご飯を作るため、なかなか火が点けられなくて、そして煙は目にしみるし、自分たちだけで作るのやはり大変のようでした。
- ◆寝るのも自分たちだけで寝ます。寝るように声をかけますが、友だちと一緒に寝るから、なかなか寝れません。でも翌朝のラジオ体操には、ちゃんと時間に起きることが不思議です。

参加の子どもたちの感想

- ◎キャンプファイヤー：あんなに大きなファイヤーにドキドキしながら楽しみました。
- ◎沢登り：少しドキドキする大変なところもあったけど、大人の人のかけ声で安心して岩をのぼり、ゴールした時に達成感がありおもしろかった。水の中で岩をのぼったりしたことが大変だった。
- ◎飯盒炊さん：マッチに火がつかなくて何度も何度もトライして、やっと火が新聞にうつったことが印象に残った。火をおこしたり、やさいを切ったりいろいろなことをやれて楽しかった。カレーがとてもおいしくできた。
- その他：バスの中で、ジュニアシニアリーダーのバスレクが楽しかった。友だちといつもとちがう自由な生活がちょっとだけできてうれしかった。友だちと寝る時に話をしたことが楽しかった。

創作活動：ペットボトルと段ボールを使ってピザ作りに挑戦(ピザ窯に炭使用) 30. 6. 30北野町会会館

①ピザ窯(段ボールオーブン)作り。段ボールの内側にアルミ箔を張り、中にピザを置く台になる四角く折った金網を入れ、炭を置くトレーを入れて準備 ②ペットボトルにピザ生地の材料を入れ30分位振るだけで材料が混ざり発酵しピザ生地になり、生地を伸ばし、具材をのせてオーブンで焼きます。待つこと15分。程よくチーズがとけおいし pizzas の出来上がりです。(佐藤)



2019年度の地子連サブリーダー研修会、楽しいことをたくさんやります。※対象は、4年生、5年生、6年生です。